

あなただけの「物語」で、 次の社会を紡ぐ

留学(オックスフォード大学
ブラバトニック公共政策大学院)

富永 真之介 TOMINAGA Shinnosuke

平成 30年 4月 総務省自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室
平成 30年 8月 山口県総合企画部市町課
令和 元年 7月 総務省情報流通行政局地域通信振興課
令和 3年 7月 同 自治財政局公営企業課標準公営企業室
令和 4年 7月 同 自治財政局財政課主査
令和 5年 7月 同 自治行政局地域政策課地域の元気創造推進係長
令和 6年 7月 現職

世界の土俵に、自分を連れていく

156人、61の国と地域。ここでは、スーダンの元大臣や、米国の陸軍関係者、台湾のジェンダー平等を推進する活動家といった全く異なる経歴の持ち主たちが一堂に会して学びます。共通しているのは、強い公共心に突き動かされて、ここに集ったことです。2年目が始まった今、最初の1年を振り返ると、自身の力不足に直面した悔しさや、学生たちから受けた刺激や感動といった多くの記憶が蘇ります。卒業後は、自国へ戻る者もいれば、また新たな国でキャリアを切り拓く者もいる。このグローバルな土俵で、自分はどうか成長し、どのような価値で応えるのか——その問いと向き合い続ける日々を送っています。

国と地方の経験を糧に学び合う

大学院では、政治学や法学といった基礎的な分野から、「分断社会におけるリーダーシップ論」のように、現在進行形で形づくられている学問まで、幅広く学んできました。国と自治体の双方で業務を経験してきた私のキャリアは、クラスメイトにとっては

珍しいものです。政治哲学のセミナーでは、山口県庁赴任中に実際に直面した合意形成の難しさを共有し、教育経済の授業では、日本の公教育を下支えする財政調整の仕組みについて紹介するなど、自身の経験をもとに議論しています。現場に近い実務と制度設計の両輪の経験が、他者の学びに結びつくことを実感する場面が増えています。

自分だけの「物語」を描きつづける

学業に加え、学生の声を大学運営に届ける学生代表として選出され、多国籍8名からなるチームで活動してきました。また、約3か月間、北イングランドの市役所でインターンとして実務も経験しました。さらに、現在取り組む国と地方の関係に関する修士論文の執筆にあたっては、異なる学部の授業を聴講したり、多様な教員から毎週のように意見をもらい、議論しながら進めています。留学後、この環境で培ってきた成長と出会った方々への感謝を携え、次の挑戦をすることになります。私の同期は今、日本中、世界中に散らばっていますが、一人一人がそれぞれの土地で自分だけの経験をし、唯一無二の「物語」を携えて、次の土俵へと進んでいきます。そんな刺激に溢れた集団が総務省だと考えています。

このメッセージを読まれている皆さんはどんな「物語」を生み出してくださるのか、お会いできる日を心待ちにしております。



学生代表のメンバーでカレッジのフォーマルディナーへ参加



インターン先の市役所の上司と同僚

進化するサイバー空間

日本における商用インターネットサービス開始前の1984年に出版されたSF小説「Neuromancer」は、幾億もの人々がサイバー空間に接続する世界を描き、サイバー攻撃、高度なAI、そして脳とサイバー空間の接続を予見しました。「Neuromancer」が出版されてから約40年。物理空間とサイバー空間は不可分となって、サイバー空間は社会の神経として機能しており、世界的にも頻発しているサイバー攻撃はあらゆる社会活動に深刻な被害をもたらしています。「Neuromancer」の描いた未来の世界は、もはや空想ではなく実現しつつあります。

サイバー空間のルールメーカーとして

刻々と姿を変えゆくサイバー空間が健全であり続けられるよう、総務省は適時適切な政策を遂行していく使命を負っています。その一職員である私は、情報セキュリティの揺籃の地であり、今なおトップランナーであるカーネギーメロン大学にて、情報セキュリティを中心として情報通信に関する最先端の政策・技術を学ぶ機会をいただきました。政府の

意思決定の在り方や電気通信技術を特に学びつつ、電気通信事業規制を通じたサイバー安全保障の確保の仕組み等について研究することで、将来の政策立案に備えて研鑽を重ねています。第一線で活躍する教授から研究について助言を受けたり、高い志を有するクラスメイトと泊まり込んで議論や作業したりする経験はかけがえのない財産となっています。多様な価値観が交錯する議論や様々な知識の学びを通じて、日々視野が広がり、大局的に物事を捉える力を身に付けられています。

未来を切り拓くために

社会基盤として極めて重要なサイバー空間の在り方に政策を通じて多大な影響を与える総務省で働くことは、この上ない刺激的挑戦となります。政策を通じて社会を実際に動かす道のりは峻険です。しかし、最先端の知識を吸収するための留学、法律改正といった大規模な制度設計への関与、海外・地方等の霞が関の枠を超えた舞台での挑戦を含め、若くても多様な経験を積むことができ、どんな困難にも打ち勝つための成長の土壌が総務省には用意されています。

先人達が描いた未来を、今度は私たちが現実の

社会基盤として実装する。そんな「継往開来」の志を我々と同じく持つ皆さんと総務省で一緒に仕事ができれば嬉しいです。



国際連合経済社会理事会の会議場見学



授業内容について教授と議論



継往開来

留学(カーネギーメロン大学)

森 峻人 MORI Takato

令和 2年 4月 総務省サイバーセキュリティ統括官付参事官付
令和 3年 7月 同 情報流通行政局郵政行政郵便課国際企画室
令和 4年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課制度係長
令和 6年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長
令和 7年 8月 現職